



ここは一体どこであろうか。

ファイブスター・ホテルのロビーと見間違ふようなこの景色、実は病院なのである。

病院の名前は「Bumrungrad International」 (Hospital)

タイ国際空港到着ロビーにも、ブースを構えているほどであり、バンコク（タイ）では一流中の一流病院となる。

勿論、一般の人がこんな病院を利用できるはずがなく、患者はタイの富裕層と、外国人である。

その外国人の多くは中東からの、いわゆるメディカルツーリストと呼ばれる人である。

9.11テロ事件前まではアメリカでの治療が一般的であったが、事件後は中東諸国からの入国審査が厳しくなったためタイに行くようになった。

日本人の利用者もいて、専用受付カウンターがあり、日本語通訳も24時間体制で配置している。

それでも、メディカルツーリストとしての日本人患者の割合は5パーセントにも満たない。

国民皆保険制度があり、ほぼ平等な品質の治療が受けられる日本では、外国に行くまでもない。

（これに限っただけでも日本は素晴らしい国だ）

外貨獲得を目的に進めているタイのメディカルツーリズムは、その高い医療技術に裏付けられている。

ここでは、どんな病気になっても大丈夫。

でも、外国で病気になることほど、心細いことはない。

健康第一、酒は控えめに腹八分、早寝早起きにつとめたいところであるが・・・・